

リオパラリンピック結団式、目標は金メダル 10 個

「A new world」をテーマに掲げるリオパラリンピック競技大会に向けた日本選手団の結団式・壮行会が 8 月 2 日に都内で開かれた。日本の目標は金メダル 10 個で、世界との戦いを前に選手らは気持ちを新たにした。

9 月 7 日に開会するリオ大会には、170 か国・地域から 4,350 選手が参加。22 競技で熱戦を繰り広げる。日本は 17 競技に 127 選手が参加する。今大会は障害者スポーツの所管が厚生労働省から文部科学省に移ってから初の大会となる。

開会あいさつで、鳥原光憲・日本パラリンピック委員会会長は「日本代表の誇りと自覚をもってそれぞれの目標へ果敢に挑戦し、日ごろの鍛錬の成果を存分に発揮してほしい」と述べ、「世界のアスリート

と交流を深め、2020 年の東京大会に向けたアスリートの強い絆を育くんでほしい」と要請した。

続いて壇上で、日本代表選手団の大槻洋也団長から、旗手を務める上地結衣選手に団旗が手渡された。また決意表明では、日本代表選手団の主将を務める藤本怜央選手が「この 4 年間、私たちは努力を続け、リオ大会は集大成。東京大会成功への橋渡しをしたい」と宣言した。

壮行会では、選手たちがリラックスして談笑する姿が見られた。日本社会事業大出身で水泳の小山恭輔選手（日鉄住金 P & E）は「3 大会連続のメダルを目指す」と話した。

（福祉新聞・第 2774 号 2016 年 8 月 8 日）

駅ホームで転落死

盲導犬と歩行中に（東京地下鉄）

8 月 15 日午後 5 時 45 分ごろ、東京メトロ銀座線の青山一丁目駅で、盲導犬を連れて歩いていた男性がホームから転落し、進行してきた電車と接触した。警視庁赤坂署によると、男性は世田谷区祖師谷の会社員、品田直人さん（55）。病院に運ばれたが、約 3 時間後に死亡した。品田さんは目が不自由で障害者手帳を持っており、同署は誤って足を踏み外したとみて調べている。

赤坂署によると、品田さんは右手に盲導犬を従えてホームの線路寄りを歩いていたが、徐々に線路へ

接近。左足から転落する様子が防犯カメラに映っていた。犬は落ちなかった。当時ホームは混雑していなかった。

東京メトロによると、転落前に駅員が危険を察知し、品田さんに「お下がってください」とマイクで呼び掛けたという。青山一丁目駅には転落事故を防ぐホームドアがないが 2018 年度までの設置を予定している。

（福祉新聞・第 2776 号 2016 年 8 月 29 日）